

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



市議会の採決結果に見る特徴

南成瀬小の統廃合の延期を求める請願は採択

市議会第二定例会が閉会しました。市長提案の議案は話題になるほどのものはない一方で、住民請願や議員提出議案の動向は、議会の判断を二分するものが目立ちました。

学校統廃合関係の請願は3件ありましたが、2件は賛成少数でしたが、私が筆頭署名をしていた南成瀬小学校の南二小場所への移転統合延期を求める請願は、18×16で採択(可決)となりました。学校統廃合路線を提起した審議会で、市長や教育委員会が例示として挙げたスクールバスの導入が前提として進められると多くの人考える中、いつの間にか、スクールバスの導入はやらない原則に置き換わっていたものです。請願者の意見陳述の発言をもとに、無所属会派の新井議員が本会議賛成討論でそれらを詳細に説明し、全議員に支持を訴えた成果が出たものです。

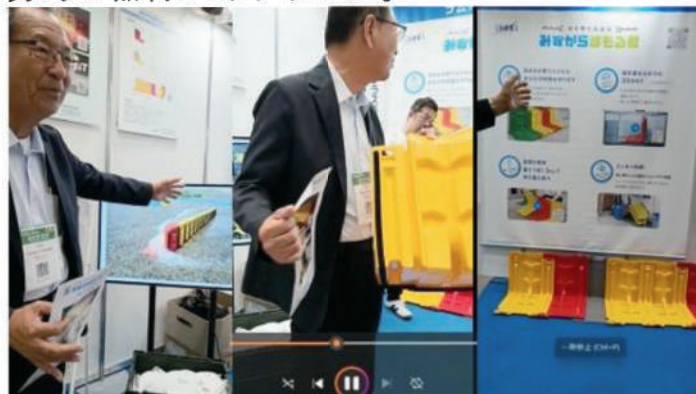
その他、加齢性難聴者の補聴器購入助成の請願、その福祉関係の複数の議員提出議案の採決で可否同数(17×17)となり、議長裁決で不採択(否決)となりました。賛否動向数に影響が出たのは、議長が所属する会派(自民系)の議員1名が今議会前に病氣療養で辞職したことによる賛否数の変化とみられます。



町田市が廃校対象とする南成瀬小学校

みずからまもる君-コンパクト止水版

東京ビックサイトの自治体・公共 Week2024を終日かけて見学しました。その一つに、水防分野の器材がありました。



W415×H395×D410サイズのポリプロピレン樹脂製の止水版を接続する方式で、黄色(イエロー)の接続用と端に使う赤(レッド)のベースで出来ていました。それらを組み合わせることで容易に設置できるもので、土のうの代わりになるものでした。器材のコンパクトさ、軽さに優れていることが一見してわかりました。ただし、パンフレットにも書いてありますが、完全防水(止水)を保証しない、強風下で製品が飛ばされないように固定や重しが必要としており、使用場所に制限や取り扱いに注意を要する点などが記してありました。もう一つの特徴は、保管管理を丁寧に行えば、製品の再利用ができることだと言えましょう。

先日、町田市内で開催された町田・第九消防方面合同水防訓練がありましたが、「土のう」や布やプラスチック製の筒状の袋で止水する方法が披露されました。今回の「みずからまもる君-コンパクト止水版」もその中で比べられると分かり易かったですでしょう。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季休暇期間中の募集開始

インターン体験記: 酒井優子⑦-1

株式会社エクシオジャパン様でお話を伺いました。こちらの会社は電気保安検査と福祉事業を中心とした会社なのですが、私自身 IT 系の仕事に興味があるということで、こちらの会社ではどのようにコンピューターを活用しているのかを質問しました。この会社では、何年か前に総務部を新しく創設したそうです。その目的は、業務上で不便なことを改善するために、新たなシステムを制作することにあります。具体的には、出勤簿を紙からネット上で管理するようにしたりと、その他さまざまな点で DX 化を図ってきたとのことでした。

総務部は当初一人しかメンバーがおらず、その上、その一人も全く情報系の専門ではなかったそうです。しかし、そのメンバーは総務部に配属されてから業務外の時間も勉強し、コツコツと知識を得たとのことでした。

実際に仕事でインターネットを活用するとはどういうことなのかについて、理解を深められた良い経験でした。話は途中、プログラミングの話に移ったのですが、実際現場ではノーコードでシステムを組むことが多いということを知り、驚きました。会社に入ってから勉強を重ねたという話も途中あり、社会人になってからも、常に新たな挑戦をできるというのは素晴らしいことだと思いました。



東京都立大学 2 年生 酒井優子 (第 53 期生)

2024.06.20

インターン体験記: 酒井優子⑦-2

吉田つとむ議員の元インターン生である、矢島宏友希さんとお会いしました。矢島さんは現在、IT 企業で SE として働いており、その中でも運用を担当しているとのことでした。何の分野においても、具体的に何か作る、ということになった時、「企画」「作る」「聞く」という三段階のことを繰り返し行い、よりよいものを作り上げていくことは重要です。そうになると、何かを作り上げる上で人数は必要となり、決して一人では“もの”は作り上げることはできません。人数が増えたならグループワークになり、効率よく進めるために、コミュニケーション能力が重要となってきます。



東京都立大学 2 年生
酒井優子 (第四十三期生)

SE の仕事においてもそれは例外ではないようで、「グループワークは SE の仕事をする上で重要になってくる」とのことでした。SE というと、パソコンの前で、一人で作業するようなイメージを持たれがちです。しかし、実際にはコミュニケーション能力や文字に説明を書き起こす能力が重要になってくるとのことでした。グループワークというのは、学生にもたびたび求められるものでもあります。働く、となったらその重要性はより増すのでしょうか。私が大学で所属しているサークルでは、グループワークが重要になる機会が多く、そういった能力は大事だとつくづく感じることが多いです。正直、サークルばかりに時間を費やすことが後ろめたくなることも多いです。しかし、今回グループワークが重要だという話を聞き、サークル活動といった学業外のことも、将来役に立つことがあるのではないかと、という風に考えるようになりました。

◎吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、2024 年 5 月末までに 107 名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。